

古川工業株式会社

2023年度

環境経営レポート

(対象期間：2023年6月1日～2024年5月31日)



発行日：2024年8月3日

発行責任者：清水 善久

目 次

項 目	頁
1. 取組対象組織・活動	3
1. 環境経営組織図及び役割、責任、権限表	4
2. 環境経営方針	5
3. 環境経営目標とその実績	6
4. 環境経営計画	7
5. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容	8
6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	9
7. 代表者による全体の評価と見直し・指示	9
8. 過去3ヶ年間の取組経過グラフ	10

1. 取組対象組織・活動

事業者名及び代表者名

古川工業株式会社 代表取締役 古川 政博

所在地

古川工業株式会社 〒526 - 0244 滋賀県長浜市内保町 3 2 5 - 1
フルカワ産業株式会社 〒526 - 0244 滋賀県長浜市内保町 2 7 7 6 - 2

環境保全関係の責任者及び担当者連絡先（電話番号等）

環境管理責任者 営業部：清水 善久
連絡先：0749-74-3075
連絡担当者 総務部：新田 司津
連絡先：0749-74-3075

事業活動の内容（認証・登録範囲）

土木工事業、建築工事業、とび・土工事業、屋根工事業、鋼構造物工事業、内装仕上工事業、水道施設工事業、解体工事業、一級建築士事務所、太陽光発電設備の販売

事業の規模

売上高 1290 百万円／(2023年6月1日～2024年5月31日)
全従業員 13名 内フルカワ産業㈱1名

事業組織

面積：㎡	古川工業㈱	フルカワ産業㈱
事務所床面積	513.87㎡	(内50㎡)
鉄骨工場延べ面積	296㎡	—
倉庫床面積	510㎡	—
駐車場延べ面積	900㎡	—
資機材置場面積	1,200㎡	—
従業員 13名	12	1
認証・登録	0000880	

過去3年間の環境負荷の実績

	単位	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素の排出量	Kg-CO ₂	75,630	60,277	52,376
二酸化炭素排出量/百万円	Kg-CO ₂ /百万円	120.8	88.7	40.6
廃棄物の排出量	t	740	203.6	589.3
水の使用量	m ³	408	315	327

*環境活動期間は、6月1日から翌年5月31日です

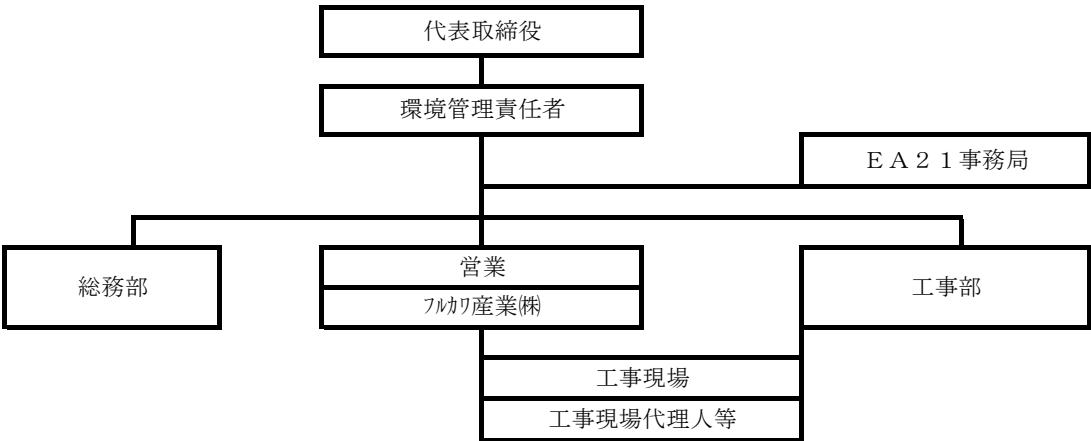
*購入電力の排出係数は、2021年関西電力の調整後排出係数の0.311kg-CO₂/kWhを2023年から2025年の3年間固定します

*化学物質の取扱いはありません。使用する場合は、SDSにて適正に管理します

2. 環境経営組織図及び役割、責任、権限表

2023年6月1日

EA2 1 実施体制組織図



※全従業員は、当社に構築された環境経営システムを理解し、策定された環境経営方針の下、環境経営目標の達成に向けて、環境経営計画に基づき、一致協力して環境取組を行う。

役割、責任及び権限一覧

担 当	内 容
代表取締役	①環境経営システムに関する全ての責任と運用についての権限を持つ。
	②環境経営システムの構築・運用・管理に必要な資源を用意する。 (資源には、人材、設備、費用、時間、専門的な技能、技術を含む。)
	③環境管理責任者を任命する。
	④環境経営方針の策定・見直し及び従業員への周知を行なう。
	⑤代表者による全体の評価と見直し・指示を実施する。
	⑥環境経営レポートを承認・発行許可する。
環境管理責任者	①環境経営システムを構築し、実施し、管理する。
	②作成された環境への負荷及び取組の自己チェックを確認し承認する。
	③法規制等の遵守状況をチェックする。
	④環境経営方針及び自己チェック等に基づき環境経営目標を設定し、作成された環境経営計画を確認し承認する。
	⑤環境活動の取組状況を確認し、環境経営目標の達成状況を評価する。
	⑥問題点の是正、予防処置に対する指示と改善や見直しに必要な処置を行なう。
	⑦環境活動の取組結果を代表者へ報告する。
	⑧EA2 1に関する運用管理の体制を構築し、各責任者を任命する。
各部門長及び 工事現場代理人	①責任範囲の環境経営目標及び環境経営計画の実施とEA2 1事務局への達成状況の報告。
	②責任範囲の問題点の発見、是正、予防処置。
EA2 1 事務局	①環境経営システム運営のすべての事務を行なう。
	②環境への負荷及び取組の自己チェックを作成し、環境管理責任者へ報告する。
	③「環境関連法規等の取りまとめ及び遵守状況チェックリスト」を作成し、環境管理責任者へ報告する。
	④環境経営計画並びに運用手順書を作成し、実施達成状況を集計し、環境管理責任者へ報告する。
	⑤文書及び記録の管理保管。
	⑥外部コミュニケーションの窓口。
	⑦内部コミュニケーションの運営管理。
	⑧従業員に対する教育訓練の実施。
	⑨特定された緊急事態に対する項目の手順書作成、テスト・訓練・記録。
	⑩環境経営レポートを作成する
全従業員	①環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚
	②決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

古川工業株式会社・フルカワ産業株式会社

環境経営方針

環境理念

当社は、建設業を通して地球規模での環境悪化に対し、その保全が人類共通の最重要課題の一つであることを認識し、事業活動において、環境に配慮した循環型の構築に貢献します。

行動指針

当社は湖北地域を中心とした土木、建築工事等の事業を行なっています。
この事業活動における環境への影響を理解し、環境経営を優先課題と位置づけて、社員と協力しエコアクション21環境経営システムを構築運用し、継続的改善と汚染の予防に努め、以下の事項について自主的・積極的に取り組みます。

1. 環境関連法規等を遵守します。
2. 当社は、次の環境活動を計画的に取り組み実施します。
 - ☆ 地球温暖化防止のため、節電、エコドライブ、重機の効率的な稼働等に取り組み二酸化炭素排出量の削減に取り組めます。
 - ☆ 事業活動に伴う発生する廃棄物に関し、分別を積極的に実施することにより、廃棄物を削減してリサイクルを推進します。
 - ☆ 事業活動では節水に努め、水の使用量を削減に取り組めます。また建設現場では濁水防止に努めます。
 - ☆ 環境に配慮した設計や施工を推進します。
 - ☆ 環境活動として、地域清掃活動（淡海エコフォスタ）に参加して社会貢献を推進します。
3. この環境経営方針は全従業員に周知、徹底します。

制定日：2010年6月10日
改訂日：2016年6月 1日
改訂日：2020年6月 1日

代表取締役

古川 政博

3 環境経営目標とその実績

エコアクション21は2006年7月から取組んでいます。2022年度を基準値として、2023年度から2025年度までの目標を下記の通り設定し、環境活動に取組んでいます。尚、このレポートでは、2023年6月1日から2024年5月31日までの運用実績について取りまとめました。

環境経営方針	取組項目	年度 単位	2022年	取組年 2023年 2023年6月1日～2024年5月31日		2024年	2025年
			(基準値)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
地球温暖化防止のため、節電、エコドライブ、重機の効率的な稼働等に取り組む二酸化炭素排出量の削減に取り組めます。	電力使用量の削減 (単位：kWh)	目標・基準年達成率	100%	99%	89.3%	98%	97%
		使用量	12,313	12,190	10,995	12,067	11,944
		(kg-CO ₂)	3,829	3,791	3,419	3,753	3,714
	ガソリン使用量の削減 (単位：L)	目標・基準年達成率	100%	99%	89.7%	98%	97%
		使用量	19,250	19,058	17,266	18,865	18,673
		(kg-CO ₂)	44,661	44,214	40,058	43,767	43,321
	軽油使用量の削減 (単位：L) 建設現場	目標・基準年達成率	100%	99%	157.5%	98%	97%
		使用量	2,008	1,988	3,164	1,968	1,948
		(kg-CO ₂)	5,182	5,130	8,162	5,078	5,026
	灯油使用量の削減 (単位：L) 建設現場	目標・基準年達成率	100%	99%	11.2%	98%	97%
		使用量	2,646	2,620	296	2,593	2,567
		(kg-CO ₂)	6,589	6,523	738	6,457	6,391
	二酸化炭素排出量の削減	目標・基準年達成率	100%	99%	86.9%	98%	97%
		(kg-CO ₂)	60,260	59,658	52,376	59,055	58,452
	二酸化炭素排出量 百万円原単位	目標・基準年達成率 (CO ₂ /百万円)	120.8	119.6	40.6	118.4	117.2
事業活動に伴う発生する廃棄物に関し、分別を積極的に実施することにより、廃棄物を削減してリサイクルを推進します。	建設リサイクルの推進 (単位：%) 建設現場	目標・取組年達成率	—	—	102.9%	—	—
		(年)	92%	92%	94.7%	92%	92%
事業活動では節水に努め、水の使用量を削減に取り組めます。また建設現場では濁水防止に努めます。	水使用量の削減 (単位：m ³)	目標・基準年達成率	100%	99%	74.3%	98%	97%
		(m ³ /年)	440	436	327	431	427
	建設現場の濁水防止監視 (単位：%)	目標・取組年達成率	—	—	100%	—	—
環境に配慮した設計や施工を推進します。	環境に配慮した商品の販売促進 (太陽光発電) (単位：件/年)	(年)	100%	100%	100%	100%	100%
		(件数/年)	3	3	0	3	3
環境活動として、地域清掃活動（淡海エコフォスタ）に参加して社会貢献を推進します。	地域の美化活動に参加する。 (単位：回/年)	目標・取組年達成率	—	—	100%	—	—
		(回/年)	12	12	12	12	12

- 購入電力の排出係数は、2022年関西電力の調整後排出係数の0.311kg-CO₂/kWhを2023年から2025年の3ケ年間固定します
- 廃棄物排出量は、建設現場からの廃棄物に対して、分別を徹底して91%建設リサイクルを推進します
- 水使用量については、事務所、建設現場における水使用量の削減について取組み、建設現場では濁水防止を100%監視します
- 環境配慮設計や施工の取組みは、太陽光発電の販売促進に取り組めます
- 地域美化活動は、淡海エコフォスター制度に登録し、毎月美化活動を推進します
- 化学物質の取扱いはないため、目標に掲げません
- 上記の目標のほか、作業現場の環境及び品質安全向上のために3S活動（整理、整頓、清掃）に取り組む

4 環境経営計画

環境経営方針	取組項目	活動計画の内容	責任部門・担当者
地球温暖化防止のため、節電、エコドライブ、重機の効率的な稼働等に取り組み二酸化炭素排出量の削減に取り組めます。	電力使用量の削減 (単位：kWh)	①会社内のスイッチに節電のシールを貼り、従業員の節電意識を高める。 ②昼休みの電気の消灯 ③エアコン温度設定を 28度 ④ブラインドの有効利用	事務部
	ガソリン使用量の削減 (単位：L)	①アイドリングの励行 ②急発進、急加速運転の禁止 ③不要な積載物を無くす ④環境に配慮した稼働 ⑤相乗り促進 ⑥低燃費車の購入(購入時)	工事部
	軽油使用量の削減 (単位：L) 建設現場		
	灯油使用量の削減 (単位：L) 建設現場	①ストーブの温度管理 (冬季20℃±1℃)	
事業活動に伴う発生する廃棄物に関し、分別を積極的に実施することにより、廃棄物を削減してリサイクルを推進します。	建設リサイクルの推進 (単位：%) 建設現場	①建設現場からの鉄くず、木くず、石膏ボード、コン塊、アス塊等の分別してリサイクルを推進する。 ②出来る限り資材の再利用に努める。 ③余計な資材を購入しない	工事部
事業活動では節水に努め、水の使用量を削減に取り組めます。また建設現場では濁水防止に努めます。	水使用量の削減 (単位：m³)	①水を流しながら洗い物はしない。 ②節水の呼び掛け、励行する。 ③冬場の融雪の使用を制限する。 ④洗濯するときは、出来る限りまとめてする。	事務部
	建設現場の濁水防止監視 (単位：%)	①現場での濁水を監視する	工事部
環境に配慮した設計や施工を推進します。	環境に配慮した商品の販売促進 (太陽光発電) (単位：件/年)	①ホームページに掲載 ②新築見学会等広告時に載せ、販売店であることを知ってもらう	工事部
環境活動として、地域清掃活動(淡海エコフオスター)に参加して社会貢献を推進します。	地域の美化活動に参加する。 (単位：回/年)	①淡海エコフオスター活動に参加する	事務部

*淡海エコフオスター活動の紹介

淡海エコフオスターとは滋賀県が推進している地域の美化活動で、淡海エコフオスター制度に登録して、毎月1回地域の美化活動に取り組みしています。また滋賀県や市町が実施する「びわこの日一斉清掃」の美化活動にも積極的に参加して、地域美化に努めています。

5 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

評価：○目標達成 △基準年値105%以内 ×目標未達成

環境経営方針	取組項目	単位	取組年 2023年 2023年6月1日～2024年5月31日			取組の評価	
			(目標)	(実績)	(評価)		
地球温暖化防止のため、節電、エコドライブ、重機の効率的な稼働等に取り組む二酸化炭素排出量の削減に取り組めます。	電力使用量の削減 (単位：kWh)	目標・基準年達成率	99%	89.3%	○	各現場でも節電を作業員にも徹底を行うものとする	
		使用量	12,190	10,995			
		(kg-CO ₂)	3,791	3,419			
	ガソリン使用量の削減 (単位：L)	目標・基準年達成率	99%	89.7%	○	ガソリン使用量は削減。前年度同様使用量の削減はエコアクションの効果と考えられる。軽油使用量は建設現場での重機の使用が多くあり増えた。灯油使用量は使用が限られた部屋のみを使用。	
		使用量	19,058	17,266			
		(kg-CO ₂)	44,214	40,058			
	軽油使用量の削減 (単位：L) 建設現場	目標・基準年達成率	99%	157.5%	×		
		使用量	1,988	3,164			
		(kg-CO ₂)	5,130	8,162			
	灯油使用量の削減 (単位：L) 建設現場	目標・基準年達成率	99%	11.2%	○		
		使用量	2,619.5	296.2			
		(kg-CO ₂)	6,523	738			
	二酸化炭素排出量の削減	目標・基準年達成率	99%	86.9%	○		
		(kg-CO ₂)	59,658	52,376			
	二酸化炭素排出量 百万円原単位	目標・基準年達成率	99%	33.6%	○		
		(CO ₂ /百万円)	119.6	40.6			
事業活動に伴う発生する廃棄物に関し、分別を積極的に実施することにより、廃棄物を削減してリサイクルを推進します。	建設リサイクルの推進 (単位：%) 建設現場	目標・取組年達成率	-	102.9%	○		分別を徹底してリサイクルを推進して、廃棄物の削減に努めた
		(年)	92%	94.7%			
事業活動では節水に努め、水の使用量を削減に取り組めます。また建設現場では濁水防止に努めます。	水使用量の削減 (単位：m ³)	目標・基準年達成率	99%	74.3%	○		節水に努め、目標を達成した
		(m ³ /年)	436	327			
	建設現場の濁水防止監視 (単位：%)	目標・取組年達成率	-	100%	○	現場での濁水を監視。パトロールの巡視項目に点検項目に吸着マットを常備を義務化にてチェックする用にした	
		(年)	100%	100%			
環境に配慮した設計や施工を推進します。	環境に配慮した商品の販売促進 (太陽光発電) (単位：件/年)	目標・取組年達成率	-	0%	×	営業活動・提案を行ったが、受注は0件であった	
		(件数/年)	3	0			
環境活動として、地域清掃活動（淡海エコフオスター）に参加して社会貢献を推進します。	地域の美化活動に参加する。 (単位：回/年)	目標・取組年達成率	-	100%	○	淡海エコフオスター活動を毎月実施した。作業現場附近の清掃を協力業者と実施した	
		(回/年)	12	12			

次年度の主な取組内容

- 地球温暖化防止のため省エネを推進して二酸化炭素排出量削減に取り組む
- 廃棄物排出量は、建設現場からの廃棄物に対して、分別を徹底して91%建設リサイクルを推進する
- 水使用量は、事務所、建設現場における水使用量の削減について取組みし、建設現場では濁水防止を100%監視する
- 環境配慮設計や施工の取組みは、太陽光発電の受注を増やす
- 地域美化活動は、淡海エコフオスター制度に登録し、毎月美化活動を推進する
- 上記の目標のほか、作業現場の環境及び品質安全向上のために3S活動（整理、整頓、清掃）に取り組む

6 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規への違反、訴訟はありません。又、過去３年間に関係当局からの違反、訴訟等の指摘はありません。

適用される法規制等と遵守状況

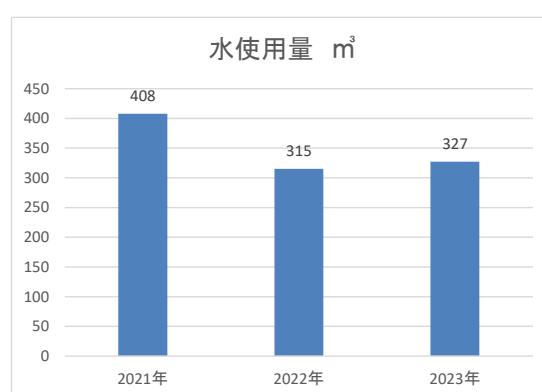
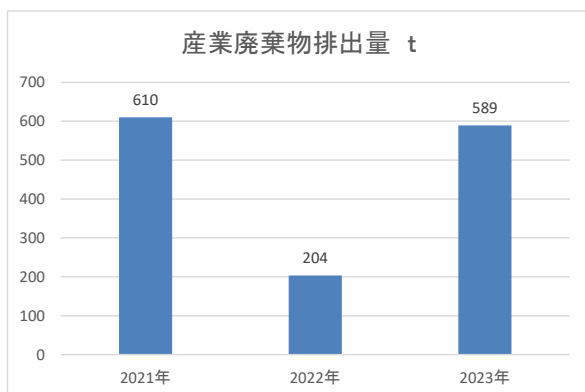
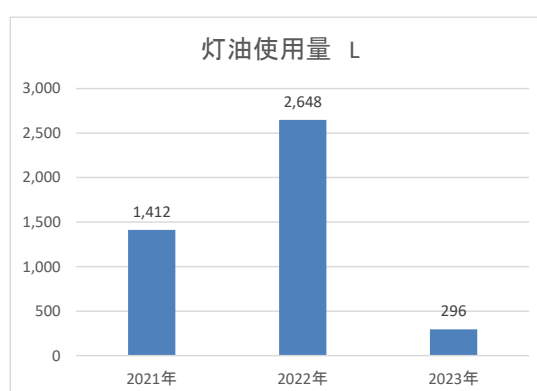
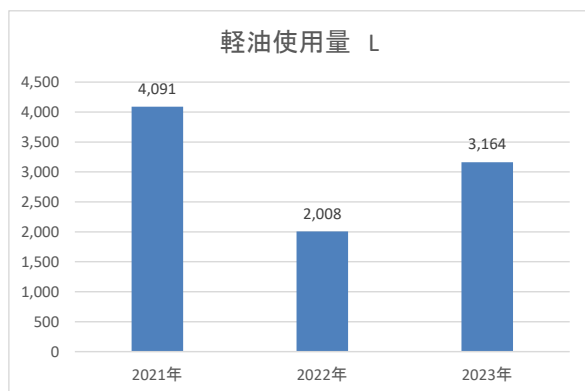
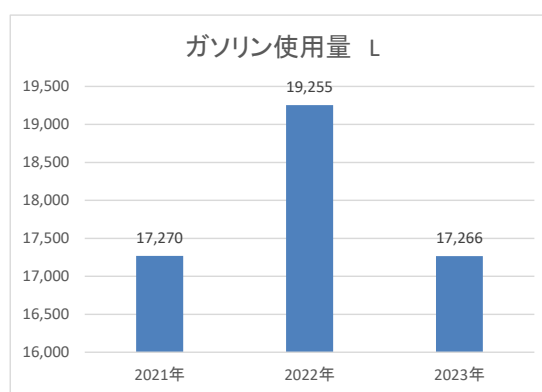
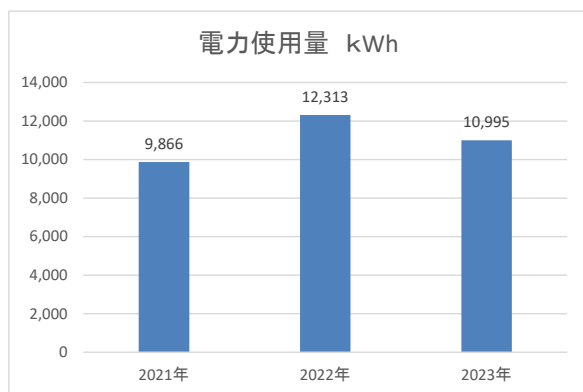
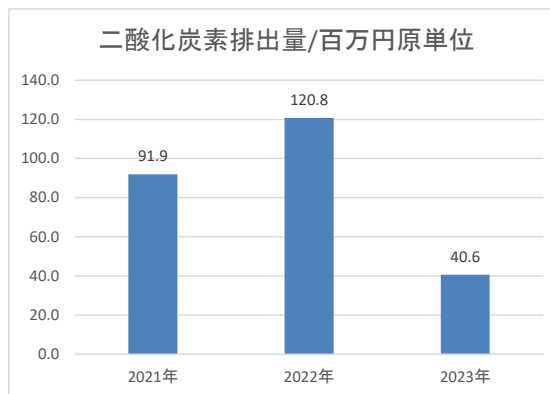
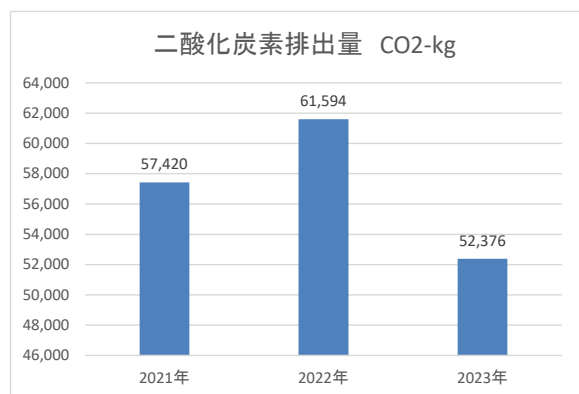
法規制等の名称	該当する要求事項	遵守評価
廃棄物処理法	産業廃棄物の管理、排出	遵守
建設リサイクル法	建設資材廃棄物の再資源化、特定建設資材を用いた建築物等の解体又は新築工事、	遵守
大気汚染防止法	アスベストの解体時の事前調査、説明、届出	遵守
水質汚濁防止法	建設現場での事故等による汚濁水発生の届出、事故時の措置	遵守
家電リサイクル法	家電リサイクル券	遵守
自動車リサイクル法	廃自動車リサイクル券	遵守
フロン排出抑制法	第１種特定製品の簡易点検と廃棄時の処置及び記録の保存、解体工事時の事前調査	遵守
騒音規制法	対象特定建設作業の届出、規制値の遵守	遵守
振動規制法	対象特定建設作業の届出、規制値の遵守	遵守
消防法	対象危険物保管の届出	遵守
地域ごみ出しルール	一般廃棄物の分別、収集、排出	遵守
注：適用される法規制等と遵守状況は、環境関連法規等の遵守状況のチェック結果に基づき記載します。		

7 代表者による全体の評価と見直し・指示結果

電気の使用量は少しずつ基準年に比べ削減。化石燃料も、ガソリン使用量、灯油使用量は削減。軽油使用量は、建設現場での重機の使用が増え目標を超過した。水は洗濯、融雪といった日常的な事くらいでかなり基準年に比べて削減。太陽光発電は目標５件受注に対して０件。顧客の関心度が無くなった為と考えられる。地域貢献活動は毎月のエコフォスタ、作業現場付近のゴミ拾い活動実施するよう指示。今後とも環境経営目標を継続して行ってほしい。尚、環境経営目標、環境経営計画、実施体制については、変更しない。

環境経営方針	☒ 変更なし	☐ 変更あり
環境経営目標・計画	☒ 変更なし	☐ 変更あり
実施体制他	☒ 変更なし	☐ 変更あり

8 過去3ケ年間の取組経過グラフ



注：2022年度から、地下水使用量を除外、目標を変更した。